

【表 3-(3)】研究成果(15)

サブテーマ名：循環器系疾患等に対する道産食素材の評価と開発 小テーマ名：養殖コンブ仮根の機能性評価															
サブテーマリーダー 研究統括 東 市郎(兼) 研究従事者 共成製薬株式会社 恵庭研究開発室長 西澤 信 北海道医療大学 助教授 堀田 清、助手															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 水産加工廃棄物である養殖コンブ仮根中の生理活性物質の探索と機能性食品開発 研究の独自性・新規性 コンブ中の生理活性物質と比較して、新規物質の存在を明らかにした。 研究の目標 コンブ仮根中にステロール酸化体、GL-フコイタンを探索・機能性評価(フェーズ テーマ)															達成率90%
研究の進め方及び進捗状況 コンブ仮根中の親油成分が植物ステロールを抽出し、機能性評価を行う。 多糖類フコイタンを抽出し、機能性評価を行う。															
主な成果 具体的な成果内容： 植物ステロールに血管平滑筋細胞増殖効果を発見 (in vitro) (特許) 他のコンブにない多糖類フコイタンを抽出し、抗腫瘍性を確認した。 特許件数：1 論文数：2 口頭発表件数：4															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 北海道において養殖コンブの生産は増殖しつつあり、その廃棄物である仮根の有効利用は環境対策の面から重要である。 2 実用化に向けた波及効果 養殖コンブ仮根を原料とした機能性食品は上市しており、これにステロール、フコイタンの付加価値化を行い当該食品のグレードアップを図る。															
残された課題と対応方針について 上記の生理活性物質を評価する上でin vivo試験が必要不可欠である。															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,170	4,170	0	8,340	8,340
設備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	0	9,000	9,000
研究費	0	0	0	2,500	3,000	0	5,500	0	0	0	15,036	15,036	0	30,072	35,572
旅費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	320	320	0	640	640
小計	0	0	0	2,500	3,000	0	5,500	0	0	0	24,026	24,026	0	48,052	53,552
代表的な設備名と仕様 [既存(事業開始前)の設備含む] JST負担による設備：- 地域負担による設備：HPLC															